

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日： 2023年 3月 1日

事業所名：ひまわり畑

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	勉強の場、休憩の場、遊びの場が確保できている。	・活動のスペースの基本がよくわからない ・十分な広さがあると思う	指導訓練室の十分なスペースは確保できているので、日頃の整理整頓を心掛け、維持していく。
	2 職員の適切な配置	利用者の数と特性に合わせて配置している。		可能であれば専門性のある職員を増やしたいが、利用者が減っている現状では難しい。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	勉強の机、遊びのスペース、私物の置き場を分けている。	・絵カードがある	今後も逐次見直しを行い、より良い環境になるようにしていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	新しいゲームを取り入れたり、飽きない工夫をしている。		掃除・整理整頓を心掛け、居心地のよい環境を維持する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎月の指導員ミーティング、始業前のミーティングを通じて職員が参画している。		今後もミーティングや始業前の時間を利用してコミュニケーションを図っていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価は利用できていない。巡回支援で利用し、支援方法を見直した。		第三者評価の利用は、引き続き今後の課題とする。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月の指導員ミーティングで指導方法を検討。オンラインの研修の利用。		今後も資質向上に努める。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	十分な時間をかけてアセスメントを行っている。	・面談の上、ニーズにもとづいた支援計画が作成されている	今後も保護者に共感し、本人と保護者の思いを汲み取った支援計画を作っていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	できている。		今後もその子に応じた支援計画作成をする。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	放課後で利用時間が短いことと、その子の利用回数に応じて計画を立て、欲張って詰め込まないようにしている。		今の課題に目を向ける。できるだけ具体的な支援内容を記載するよう心掛ける。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	できている。		継続する。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	工作、外出先、遊びなど、相談して決めている。		それぞれ得意・不得意があるので、職員の知恵を集めて立案していく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は宿題やゲーム、休日は外出や公園遊び、長期休暇は外出や工作と、変化をつけている。		利用者に喜んでもらえているので、継続していく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節の行事を取り入れたり、工作隊の方に来ていただいたりと工夫をしている。	・いろんな行事予定がある	新しい外出先を考えたり、飽きない程度にプログラムをローテーションさせ、楽しめるよう考えていく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	できている。		子どもは日々成長するので、小さな変化も伝えるようにしていく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	送迎車に添乗後、そのまま帰ってもらうことが多い。気になることはラインやメール、次回の勤務日に報告をしてもらっている。		今後も、支援終了後に集まったの情報共有は難しいので、ラインなどで報告をしてもらう。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	できている。		連絡帳、業務日報への記載を通じ、その日の支援を振り返ることを継続する。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	できている。		継続する。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	担当者会議が開かれることが稀であるが、その場合には児発管が参加している。		今後もしできる限り児発管が参画する。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要性は感じているが、とてもそんな時間はない。		今後の課題とする。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	必要性は感じているが、とてもそんな時間はない。		就労支援事業所のアンカー神戸三宮と連携して、卒業後の進路について情報提供を受けている。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	こども部会を通じて連携できている。始業前の時間を利用してオンラインの研修を受けている。		始業前の時間を有効利用する。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	本部のカルチャー教室で書道と一緒にしている。児童館との交流はできていないが、保護者は望んでいない。 コロナ禍が続き、3年連続で今までできていた交流(餅つき、料理など)が実施できていない状況。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 知るかぎりではないような・・・</li> <li>• あまり必要としていないです</li> <li>• なくても学校で交流しているので問題ない</li> </ul>	基本的に発達障害の子は変化を好まない。無理のない範囲で交流を図っていく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナ禍が続き、今までできていた交流(餅つき、料理など)が実施できていない状況。 東灘事業所紹介フェアに参加。		基本的に発達障害の子は変化を好まない。無理のない範囲で交流を図っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	できている。		継続する。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	できている。		継続する。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者会の開催。スカイプを利用してオンラインでも参加できるようにした。	・定期的な保護者会で現状～将来について学び知る機会があり、大変ありがたいです	来年度もテーマを決めて保護者会を開催する。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳、LINE、面談を通じて情報共有している。	・こどもの特性や現状を理解して下さり一緒に考えて下さるのでありがたいです ・毎回の連絡も細やかにある ・連絡帳や送迎時、保護者会、懇談など ・連絡帳やラインでやりとりできている	継続していく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	連絡帳、LINE、面談を通じて情報共有している。	・面談では保護者に対してとてみていねいに、時間をとって向き合ってもらえています。 ・連絡帳や送迎時、保護者会、懇談など ・面談が定期的にある	継続していく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会は開催しているが、コロナの為、保護者同士の交流は避けている。	・保護者会が定期的で開催されている	状況を見極めて判断していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情処理の手順を定め、それにのっとって対応している。	・これまで苦情はなしなので適切としています。	継続する。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子どもの特性に合わせた対応、保護者の事情に合わせたツールを使用して連絡を取る等、対応している。		継続する。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月ひまわりだよりを発行、随時フェイスブックへの投稿で発信している。	・プリント、フェイスブック、HPなど	継続する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	職員からは秘密保持誓約書、保護者からは個人情報提供同意書を提出してもらっている。 個人情報は鍵付きのロッカーで管理している。		継続する。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	時期を決めてミーティング時に確認している。	・説明されたかもしれないが忘れてしまった	定期的に見直しをする。 保護者への周知が不十分なので面談時に説明するようにする。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	全ての曜日で行いたい、出来ていない曜日もある。出来ていない曜日については、職員のみでシミュレーションして対応している。		時期を決め、すべての曜日で実施できるよう計画を立てる。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	1年に1回、4月に行うようにしている。		継続する。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	お出かけ時に手をつなぐことを面談時に説明し了解を得て、支援計画に記載した。		何が身体拘束にあたるのかをそれぞれが考えるようにする。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	毎年、保護者へアンケートを送付し、その結果を一覧表にして職員に分かるように常に掲示している。 医師の指示書はもらえていない。		ミーティング時に定期的確認をする。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	小さなことでも作成し、職員で回覧するようにしている。		継続する。